



今季の初滑りを満喫 井川スキー場腕山オープン

県内唯一のスキー場である井川スキー場腕山で12月20日、今季の営業が始まりました。今季のオープンまでは、暖冬との予報どおり自然雪の積雪がほとんど無く、ナデシココースのみでのオープンでしたが、この日はリフト料が無料だったこともあり、県内外から約150人のスキーヤーやスノーボーダーたちが訪れ、人工雪の感触を確かめながら、思い思いの初滑りを楽しみました。

今季営業は、3月8日までの予定で、1月・2月は土曜ナイターも実施されます。



描いた絵が動いてるよ お絵描きパラダイス

お絵かきパラダイスが12月5日、阿波池田うだつの家で行われ大泉保育園の園児14人が参加しました。

このイベントは、池田冬のオブジェ2019の協賛イベントとして阿波池田商工会議所が12月3日～9日まで開催したものです。専用の用紙に描かれたサンタクロースや雪だるまに好きな色を塗ったり、自分の好きな絵を描いたりし、スキャンするとスクリーンの中で動きまわります。園児たちは描いた絵が動き出すと大喜びし、スクリーンに見入っていました。



周辺住民の関わりを評価 ふらっとスクエアが受賞

このほど、池田町中心部にある公園「ふらっとスクエア」が土木学会デザイン賞2019の奨励賞を受賞しました。

公益社団法人土木学会が主催するこの賞は、創意工夫によって周辺や地域と一体となった景観を創造した土木構造物や公共的空間などを顕彰するもので、ふらっとスクエアは、周辺住民のワークショップによる合意形成がなされ、短期間かつ低予算で整備を実現したこと、またイベント開催や公園管理にも地域の方が深く関わっていることが評価されました。



市政に向け高校生が真剣に質問 市議会主催の高校生議会を開催

12月23日、高校生が議会を体験する高校生議会が市役所の議場で行われ、池田高校本校と三好校、辻校から19人の生徒が参加し、質問したり議長役を務めたりするなど本物の議員さながらの雰囲気を楽しみました。

一般質問に登壇した6人の高校生は、市政への疑問を質問にまとめ、観光振興やいけだ阿波おどりの運営などについて質問し、各課の課長などが答弁を行いました。

高校生議会は、高校生に政治や地方自治に関心を持ってもらい、開かれた議会を推進するために三好市議会が開催したものです。



100才おめでとうございます



大岡 マスさん(山城町上名)

12月20日、大岡マスさん(山城町上名)が100歳のお誕生日を迎えられ、県や市から祝い状や記念品が贈られました。山城町上名でお生まれになった大岡さんは18歳の時に結婚され、農林業を営む夫を支えながら6人のお子さんを育てられました。5年ほど前からは特別養護老人ホームに入所され、おだやかに毎日を過ごされています。この日は、家族や親族などから花束などで祝福され、施設から贈られたお誕生日ケーキをおいしそうに食べられていました。これからもお元気で過ごしてください。



ウルシ栽培者の確保に向けて 東さんのウルシ栽培技術を学ぶ

12月18日、三好市山村活性化推進協議会の主催によるウルシ林造成技術講習会が山城町にて行われました。

講習会では四国唯一の漆掻き職人である東官平さんが講師となり、切り分けた根から70cmほどに育てた苗木50本を東さんの畑に植栽しました。

現在、国産ウルシは国内で使用されるウルシの2%ほどと危機的状況にあります。三好市山村活性化推進協議会では、東官平さんの知識と技術を継承し、次代のウルシ栽培者を確保するために講習会等を行っています。



クリスマス気分を味わって JR阿波池田駅でツリーの飾りつけ

駅の利用者にクリスマス気分を味わってもらおうと12月5日、池田幼稚園の41人によるクリスマスツリーの飾り付けがJR阿波池田駅の構内で行われました。

赤い帽子をかぶった園児たちは、高さ約2.3メートルのもみの木に、画用紙で作ったサンタクロースや天使を飾り付け、ツリーを完成させました。その後、園児たちは「クリスマスのひは」「ジングルベル」など歌やダンスを披露し、保護者や駅利用者に一足早いクリスマス気分を届けました。ツリーは12月25日まで飾られました。



地域を光で元気に 願い込めて冬のオブジェ点灯

三好市に冬の到来を告げる池田冬のオブジェの点灯式が11月30日、池田へそっ子公園で行われました。

オープニングセレモニーでは、大泉保育園児による夢来人宣言のあと、へそっ子公園内のイルミネーションが一齐に灯され、会場内はイルミネーションの柔らかく温かな光に包まれました。

今年で26回目を迎える池田冬のオブジェは、地域を光で元気にしたいとの願いを込め毎年続けられており、約10万個のイルミネーションは、1月10日まで点灯されます。